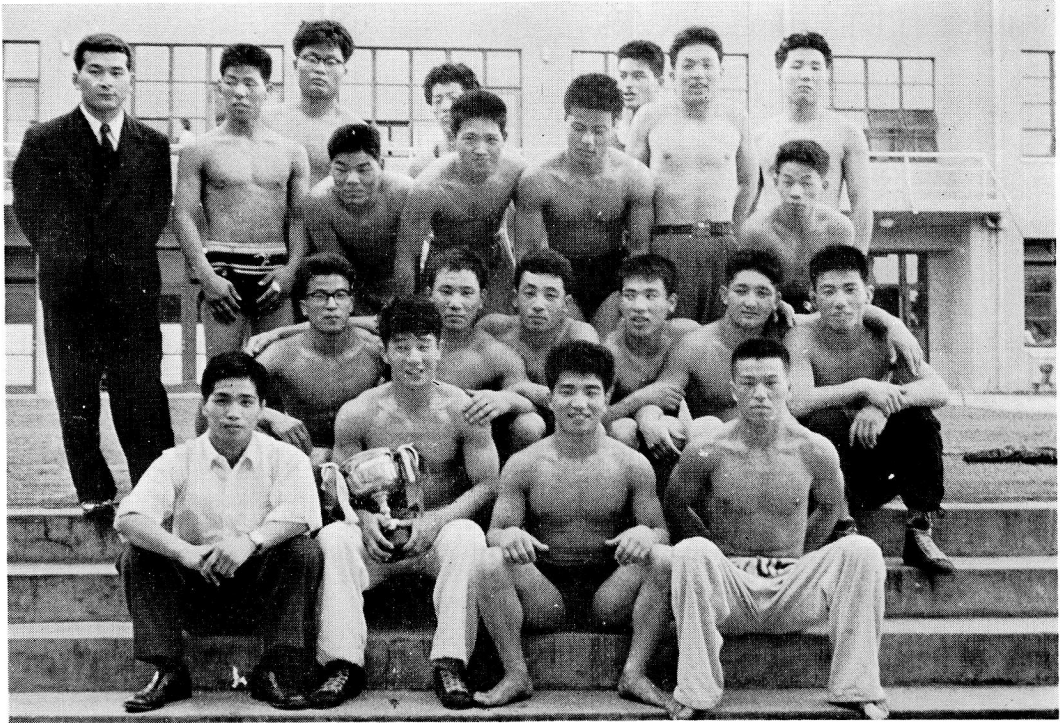


# 31年

- 春季リーグ戦優勝(4連勝、8回目)
- 秋季リーグ戦優勝(5連勝、9回目)
- 松井清、イラン遠征日本代表チーム副団長



部長 高堂俊弥  
 監督 松井清  
 コーチ 横山勝利  
 主将 佐々木 敏  
 副将 宇賀大三郎  
 主務 金輪秀隆

学連委員

- |   |   |
|---|---|
| 4 | 宇賀大三郎、尾崎英輔、金輪秀隆、岸本盾一<br>佐々木 敏、竹谷政雄、岩田輝、大川寿一<br>山根 勝、岡本島夫、増田 勉 |
| 3 | 乾哲夫、小中貞夫(現 柏木貞夫)、河竹雄二郎<br>北岸高丸、丸谷博俊、若林正敏、町田行康<br>河野一雄         |
| 2 | 西脇義隆、森川泰治、岡本圭司、盛本孝司<br>村田惠彦                                   |
| 1 | 住本義男、山本克幸、三好宗太郎(現 樋口宗太郎)<br>岸上 止、金谷 保                         |

## この年の思い出・31

佐々木 徹

我々の時代は食糧事情、交通事情が多少とも良くなりかけてきたときでありましたが、全日本の試合の時等には当時まだ新幹線がなく、大阪駅より夜行に乗り朝東京に到着、宿舎に入り一休み、その後体をほぐしながらウエイトの調整、翌日試合というのが普通でした。

ウエイト調整には、東京では東京温泉のスチームバスであり、大阪では普通の銭湯で減量して調整するのが常でした。

財政的には恵まれておらず苦労しました。但し、学友会から部に対し年間を通じて予算があり、ある程度の計画はたてることができるといえできたのであり、現在の学友会予算のない部よりは多少この点で恵まれていたと云えるかもしれません。

但し、新しく部を引継いで運営して行く時は、赤字を背負ったものであり、加えて新年度からは主将であった私が、マネージャー役を兼ねての練習、後輩の指導ということで、リーグ戦での優勝をねらうということは勿論であります、それよりも今後如何に部を運営して行くかに心を奪われたのであります。

マネージャー役兼務ということで、リーグ戦の前には案内のハガキを帰宅後一枚一枚ペンで書き発送したり、学連の会議でのリーグ戦の打合せや、新聞社訪問等もしなければならず前途を思い何か悲感的な考えになったものです。

また、リーグ戦を目指して予算会議を欠席しての強化練習中、予算がBクラスになるとの連絡を受け、急きょ練習中の部員をつれて予算会議に押しかけて抗議した結果、投票によりからくもAクラスにとどまったこともありました。

当時の練習は、道場の関係から練習時間が一定しておらず各部が自由に練習できず、交替で午前と午後に練習場を使用する状態でありました。その為全員での練習（スパーリング）以外に練習の前後に各自が自発的に自分のペースでランニング等を行なったものです。

合宿は、慣例により春は千里山、夏は地方と決まっておりました。この時の春の合宿は大学の正門前の丸見屋で行ない、一人の負傷者もなく成果をあげて無事終了しましたのでほっとしたものです。

夏は、京都の南禅寺の永観堂で行ないました。別名「哲学の道」といわれた南禅寺から銀閣時迄の疎水の道で、春になれば桜並木が大変美しいところで恋人同志の格好の散歩道というところを、朝の6時からランニングで一息にかけぬけたものです。午前と午後のスパーリング、苦しかったが楽しい思い出の一夏となりました。夜の怪談、昼の練習合間の艶話等話題が豊富であったようです。

当時の練習は、各自が自分自身にノルマを課して自分自身に厳しく、それをまっとうしようと懸命に努力し、部員同志がよくライバル意識をもちあい、強くなろうと技をみがいたものです。その結果がリーグ戦の春秋連続優勝につながったものと思います。

授業についても、道場の関係で練習時間が不規則なため、受講できたり、できなかつたりの状態でしたが、専門学科については授業を受けられなかった時は、そ一つともぐりで夜間の授業を聴講したものです。

長いと思った4年間、1年生の最初の合宿のときこんなつらい練習があったのか、こんな練習をあと7回もしなければ卒業できないのかと気が遠くなる思いがしたのですが、過ぎてしまえば短いもので今は楽しい思い出となつて心の中にいつまでも残っております。

# 31 春

(31年5月28、29日、神戸YMCA)

関学	⑧	—	1	名城大
同大	⑤	—	4	近大
関大	⑧	—	1	名城大
近大	⑦	—	2	名城大
関学	⑦	—	2	同大
関大	⑧	—	1	近大
同大	⑧	—	1	名城大
関大	⑥	—	3	同大
関学	⑨	—	0	近大
関大	⑤	—	4	関学

順位

1	関大	4勝
2	関学	3勝1敗
3	同大	2勝2敗
4	近大	1勝3敗
5	名城大	4敗

主要戦個人勝敗表

関大 ⑤ — 4 関学			
F	小中	—	○田村
F	岩田	◎ 2分34秒	川崎
B	川竹	12分29秒	◎鎌田
B	岸本	◎ 8分57秒	曾根
F e	丸谷	—	○植木
F e	佐々木	○ —	清水
L	若林	13分28秒	◎中西
L	乾	○ —	荒山
W	宇賀	◎ 8分57秒	沖

# 31 秋

(31年11月10、11日、神戸YMCA)

関学	⑧	—	1	名城大
近大	⑤	—	4	同大
関大	⑦	—	2	名城大
近大	⑦	—	2	名城大
関学	⑥	—	3	同大
関大	⑨	—	0	近大
同大	⑦	—	2	名城大
関大	⑨	—	0	同大
関学	⑨	—	0	近大
関大	⑥	—	3	関学

順位

1	関大	4勝
2	関学	3勝1敗
3	近大	2勝2敗
4	同大	1勝3敗
5	名城大	4敗

主要戦個人勝敗表

関大 ⑥ — 3 関学			
F	小中	—	○田村
F	尾崎	○ —	川崎
B	西脇	○ —	曾根
B	岸本	○ —	鎌田
F e	丸谷	キケン	◎植木
F e	佐々木	○ —	清水
L	若林	4分40秒	◎中田
L	乾	○ —	中西
W	宇賀	◎ 3分30秒	沖

# 32年

- 春季リーグ戦第2位
- 秋季リーグ戦優勝（10回目）



部長 高堂 俊 弥  
 監督 松井 清  
 コーチ 横山 勝利  
 主将 乾 哲夫  
 副将 丸谷 博俊  
 主務 北岸 高

学連委員

- 4 乾 哲夫、小中 貞夫 (現 柏木貞夫)、河竹 雄二郎  
 北岸 高、丸谷 博俊、若林 正敏、町田 行雄  
 河野 一雄  
 3 西脇 義隆、森川 泰治、岡本 圭司、盛本 孝司  
 村田 恵彦  
 2 住本 義男、山本 克幸、三好 宗太郎 (現 樋口宗太郎)  
 岸上 止、金谷 保  
 1 梶原 栄 (現 白井 栄)、竹田 賢藏、中川 清通  
 木田 茂雄 (現 堀江茂雄)、矢路 正之、瀬脇 嶺

## この年の思い出・32

柏木貞夫(旧姓 小中)

光陰矢の如し卒業後19年の歳月は過ぎ去った。走馬灯の如く、臉に浮かぶ思い出は、毎日のランニングで、最後に「フリー」の掛声の後、あの競走の辛かった事、蛙飛びのしんどかった事、何度かの合宿練習、諸先輩の愛の鞭、そして又、あの畳の上にキャンパスを敷いた練習場、汗の臭のぶんぶんする部室、帰り途、丸見屋の関東煮のうまかった事、等々、当時の辛かった事も、その度合に応じて、今では逆に楽しい思い出に変わった。今往時を偲びその頃の事を断片的ながら書き綴ってみたい。

まず、伝統ある関大レスリング部に志をたて、昭和29年4月から入部したのは、丸谷、若林、河野、町田に柏木(旧姓小中)の5人であった。その後、4年次の終、昭和32年秋の関西学生リーグ戦の優勝や東西対抗学生の王座決定戦に参加したのは乾(主将)丸谷、柏木に北岸(マネージャー)であった。然し、この4年間に途中で入部した者、退部した者も多く、軽量級では、辻井、貢、河竹、重量級の辻などがあり、合せて11名の選手が在籍した。吾々32年度組も例によって、関大レスリング部の重い伝統を背負い、先輩から情熱の特訓も受けた。そのお蔭で関西学生リーグ戦には、29年の秋、30年、31年の春秋、32年の秋に優勝し、在籍8シーズンのうち5連勝を含む、6シーズン優勝に恵まれた。さらに東西対抗学生王座決定戦には、29年から32年まで関西の覇者として4年間連続し善戦した。

我々が1年次の頃には、押立、清谷兄先輩が全米選手権出場の為に渡米された。翌2年次の頃、清谷弟、横山先輩の米国遠征、続いて横山先輩がワルシャワの世界青年スポーツ大会に出場された。同窓の乾選手ウェルター級は関大一高水泳部の出身で、こつこつと努力で実力を積み重ね、股裂技を得意とし、米国遠征を以って最終の美を飾った。丸谷選手ライト級は明星高の柔道部OBで柔らかい体で肩巾が広く、一本背負投げが得意技。然し足の関節がよくはずれた。柏木(小中)選手フライ級は市鈴蘭台高レスリング部出身でレスリングに詳しく、特に、遠方の三田市から通学し4年間続けたのがその性質を表わしていた。北岸選手バンタム級は布施高OBで、小柄ながらファイトの塊で善戦した。然し神経炎で途中マネージャーに転向した。町田選手フェザー級は市神港高の水泳部でバタフライで鍛えた分厚い胸が記憶に残る。更に彼が愛したのは文学で、いつも本を読みふけていた異色。若林選手ライト級は関大一高の相撲部OB、柔らかい体、重い腰、豪快な足取り技、ファイトむき出しで根性の試合をした。河竹選手バンタム級は特にブリッジが大きく、寝技からブリッジで立技によく起き上った。家では算盤の先生だった。この外にも関大一高相撲部OBの河野選手、辻、辻井、貢、各選手がいた。しかし消息がわからないのが残念である。これ等同窓諸氏も関大レスリング魂でもって社会の重鎮であり、良き父親となって頑張っている事と思う。聞くところによれば貢君は既に他界したとか。終に貢君の冥福を祈り、あわせて関大レスリング部またOB諸氏の御健康と御発展を祈ります。

## 32 春

(32年5月23、25日、6月2日、関大天六体育館)

関学	⑦	—	2	同大
関大	⑦	—	2	近大
関大	⑥	—	3	同大
関学	⑧	—	1	近大
近大	⑤	—	4	同大
関学	⑥	—	3	関大

順位

1	関学	3勝
2	関大	2勝1敗
3	近大	1勝2敗
4	同大	3敗

主要戦個人勝敗表

	関大	3	—	⑥	関学
F	岸上		—		○石田
F	小中	◎	3分23秒		武部
B	西脇	○	—		鎌田
B	河竹		キケン	◎	植木
F e	盛本		—		○清水
F e	岡本		—		○中田
L	丸谷		—		○出雲
L	森川		不戦	◎	中西
W	乾	◎	6分25秒		沖

## 32 秋

(32年11月19、20、21日、関大天六体育館)

名城大	⑤	—	4	同大
関大	⑧	—	1	近大
関学	⑨	—	0	名城大
関大	⑧	—	1	同大
関学	⑨	—	0	近大
関大	⑦	—	2	名城大
関学	⑥	—	3	同大
近大	⑦	—	2	名城大
近大	3	引分け	3	同大
関大	⑤	—	4	関学

順位

1	関大	4勝
2	関学	3勝1敗
3	近大	2勝2敗
4	名城大	1勝3敗
5	同大	4敗

主要戦個人勝敗表

	関大	⑤	—	4	関学
F	小中	◎	3分00秒		禰宣田
F	北岸		—		○石田
B	西脇	○	—		沢井
B	神谷		—		○鎌田
F e	木田		3分24秒	◎	植木
F e	金谷		—		○清水
L	乾	○	—		中西
L	丸谷	○	—		出雲
W	森川	○	—		沖

## 32 個人戦

関西選手権大会	フリー・F	小中	貞夫	1位
	〃・B	西脇	義隆	3位
	〃・W	乾	哲夫	1位
全日本選手権大会	グレコ・F	小中	貞夫	2位
	〃・W	乾	哲夫	2位



# 33年

- リーグ戦11人制 (F2, B2, Fe2, L2, W2, M1)となる
- 春季リーグ戦第2位
- 秋季リーグ戦第2位
- 乾哲夫、米国遠征日本代表
- 松井清、秩父宮記念章功労賞受賞



部長 高堂 俊 弥  
 監督 松 井 清  
 コーチ 横 山 勝 利  
 主 将 西 脇 義 隆  
 副 将 森 川 泰 治  
 主 務 三 好 宗 太 郎 (現 樋 口 宗 太 郎)

学連委員

4 西 脇 義 隆、森 川 泰 治、岡 本 圭 司、盛 本 孝 司  
 村 田 恵 彦  
 3 住 本 義 男、山 本 克 幸、三 好 宗 太 郎 (現 樋 口 宗 太 郎)  
 岸 上 止、金 谷 保  
 2 梶 原 栄 (現 白 井 栄)、竹 田 賢 藏、中 川 清 通  
 木 田 茂 雄 (現 堀 江 茂 雄)、矢 路 正 之、瀬 脇 嶺  
 1 荒 武 光 也、市 口 政 光、神 谷 和 己、桂 新 次  
 岸 田 将、高 田 勝 三、中 野 隆 司、福 家 義 夫  
 松 田 靖 彦、松 浪 啓 一、吉 村 道 太 郎、森 健 二 郎

## この年の思い出・33

### 西脇義隆

初夏には未だ少し早い、一年中で一番風のさわやかな季節です。大きな邸宅と美しい芝生があり、垣根には盛上る様な五月の花が咲ききそい、ついこの間迄満開であった桜のなごりを、その新緑の葉が教えます。

大阪の北側、丘陵地帯、高級住宅地の千里山の花壇町を西側より東側への地道の坂を南北に走る阪急電車千里山線に直角に向って息もたえだえに走りおります。もうこの様な状態で15分は経過したでしょう。

周囲には約20近い肉の固まりが立ならび、やはり息荒く、躍動しつつ、坂をころがります。ものの2分も降りれば、その坂も終り右前に千里山線花壇町の駅が春の日ざしの中でものうげにかすんで見えます（但し本当は汗と油でかすんでいたのだ）。一団は駅を後に見る様に直角に左へ曲り線路に添って北へ向います。そのあたりから約20程の肉のかたまりは、息荒いその躍動に少し躊躇した様な動きを含みながら、多少みだれた体列を少し整え直す様な動きが見られ、と同時に何んとも云えぬ重苦しい様な空気と緊張感が、20程の肉体をとりまく大気に流れます。20の内の首領と思われる肉体から悲壯とも思われる怒号が一声発せられます。その瞬間各々の肉の固まりは、まさに、はじかれた如く、線路に沿った地道を北へと、ころがり、まろびつ、脱兎となり、弾丸となり、疾風の如く息を切らせます……………。

レスリングと云う格闘競技よりもむしろ喧嘩が強かった、と云った方が良い森川泰治君、リーグ戦の試合途中で相手軍の応援の仕方が悪いと、試合を中止して、その応援者を蹴り上げて、又試合を始めた剛の者、32年の秋季リーグ戦、対関学との優勝戦4対4の同点ウェルター級での決勝戦、関学強剛、沖選手をラスト・スタンドで、ひねりつぶす様にタックルを返して、我関大へ優勝を導びいた。

彼の勇姿は忘れる事は出来ない、今もその当時と同様に大阪体育大学レスリング部監督と浪商レスリング部総監督として関西レスリング界の重鎮としての活躍は益々心強い。

当時、破竹の勢いで全日本を制破した中央大学レスリング部、その内の強剛の一人、バンタム級の吉田選手が、攻撃に攻撃、勝利を完全に手中にしたと見えた、その一瞬のスキを取らえて反撃に出たとたん、あのねばり強い柔らかな体を利して、吉田選手をホールに持っていき、中大陣を呆然とさせた岡本圭司君、負傷が多かったのが今も残念だ、大阪産業信用金庫の店長代理の現在。

武者揃いのその中でとび抜けた伊達者、流行のマンボズボンをはき、上着のサイドを割り、当時流行の最先端を行ったレスラー、練習でもスマートさを重視していた様に思われます。東京遠征時も女性に目をつけるのが一番早かった。今は二兄の父、盛本組社長、ゴルフのハンデー3の盛本孝司君。

絵に書いた様な素晴らしい肉体美の持主、もくもくと練習を続けた村田恵彦君、今もきつと髪を伸ばさず丸坊主頭で頑張っているのでは？

高校時代はフェンシングの選手であった事、そのため握力の強いのが自慢であり、33年の関西選手権には準優勝、大活躍をした住本義男君。

住本君同様、神戸出身でバンタム級では特に力が強く、色白で理論的なレスリングを考え、一度ト

レーニング方法の小論を見せて貰った事がある。33年の全日本選手権大会にそなえて、ウェイト調整のため神戸の山側の坂道を走廻った事が昨日の様に思い出される山本克幸君。

劇軽んなウィットとジョークを何時も飛ばし、フライ級で活躍し部の女房役、マネージャーをつとめてくれた三好宗太郎君。現在、北海道札幌で活躍中の由。

その三好君に何時もからかわれ、冷かされる良い相手役の人、練習よりも実戦派、名門、大阪市立高校時代よりの技を生かし、何んとはなしに勝利に結びつけてしまう。レスリング練習をさぼった為に先輩に居所をさがされ、ついに京橋の麻雀屋に居る事が分かり、先輩に突然ふみ込まれ、階下のパチンコ屋に通づる階段を引きづり降ろされ、満員の麻雀屋の客とパチンコ屋のお客を驚かし、逃げ廻った金谷保君。今は素晴らしい家具屋さんの御主人とか。

何時も、もくもくと練習し、言葉少なく同級生の中で一番男前、高校時代水泳選手で身体が柔らかく、部の縁の下の力持ちになってくれた。春の岡山合宿練習の合宿所にあったオルガンを部の中で、ただ一人、「ネコふんじゃった」とひく事が出来、それで近所の女の子に一人もてて喜んでいた好男児、岸上止君、今は人も恐れる大阪府警の腕きき刑事さん。レスリング部員にしては仲々眉目秀麗だと感心した。音楽などクラシックを語る文学青年レスラー、阿倍野体育館での全日本選手権大会初出場、足がふるえて止まらなかった様な事もあったとの事。

堀江茂雄君、我関大レスリング部の監督もやってくれた人。寝屋川レスリング協会副会長の今。

とに角、づんぐり型の多かった我部の中で180センチ近い長身の2人の選手、共に格闘競技の選手としては優しい人柄を示し、厳しい練習の中で後輩達には、心の安らぎを与えてくれた事だろう。梶原栄君と矢路正之君の2人、今実業界の中堅どころ。

いかつい身体にいかつい顔、その割に非常に優しい人格者、懸命に練習を続けた、東大阪の名家の子息中川清通君。

34～5年頃関大のフライ級の代表として活躍してくれた竹田賢蔵君と瀬脇嶺君、両君共ガッチリした体格の選手、52kgへの減量は今だに忘れ得ぬ思い出となっている筈だ。後年、東京で慶応出身のチャンピオンだった選手から竹田さんはどうしてられますか？との問いに、さすが竹田!!チャンピオンにも印象を与えていたのだなあ、と感心した次第。

次の36年当りは断然うるさくなって来る。腕白揃い、どれをとっても一騎当千の強者揃い、新人当時より梅檀双葉よりかんぱし、キラキラ光るその瞳は、末にはさすがと思わせる素材、思い切ったふみ込みと引きつけてのスピードで、3年生当時には全日本チャンピオン、ローマ・オリンピック、バンタム級グレコ代表となり、第18回東京オリンピック大会では世界にその名を轟かせたゴールドメダリスト市口政光君。世界を股にかけてメダルを取りまくった名選手、駒沢体育館で「君が代」が鳴り渡り、日の丸が上がり、表彰台でのあの笑顔、今、全日本の有数の指導者であり、強化コーチ、東海大学の助教授、盛々活躍や盛ん。

岡山の春の合宿の際、紹介者の黒田氏（早大OB）と果物かごを下げて来てくれた。岡山関西高校の柔道の猛者、関大レスリング部では、市口と並んで活躍してくれた。第2期黄金時代のけん引車。岡山弁がいつ迄も抜けず、おへん（かなわない、困った）、おへんの愛称の福家義夫君、部費集めのアイディアも数多く持ち、レスリング石鹸を造って売っては？とか、ダンスパーティーをやってはとか、名迷案を提出したが、訳の分らぬOBから、馬鹿奴!! そんな時間があるなら、練習しろ!!と却

下されて、しょげていた事も幾度か？

泉州、泉佐野の名家の出身、「男一匹心意気」を地で行く練習の鬼、熱血男児、レスリング道をきわめんとした松浪啓一君。今は泉州実業界、青年会議所の理事長さん、大活躍の由。

どれをとっても、あばれん坊の集りのその中で、一人毅然とした態度を何時も保っていたクールな常識青年、しぶい試合振りと片足タックルが今日も目に浮かぶ高田勝三君、言葉少なく懸命に練習に励んだ人、今、高槻高田家具店社長さん。これ又青年会議所大幹部の由。

その高田君とは特に仲が良かった、現在も家族ぐるみの交際を続けている神谷和巳君、身体の柔らかさに於いては彼の右に出る者はなし。フォール負けなど一度もなかった筈だ、フェザー級で最も安心した1点を何時も我部にもたらせてくれた優秀選手。名門大阪市立高校出身だった。

小柄なフライ級ながら関大一高柔道部よりの入部、小ぎみの良い首投げ、背負い投げの技はさすがであった。荒武光也君、あの可愛い童顔は今の36才になっても変わっていない筈。

我関大レスリング部にあっては、めづらしい左翼の支持者。一見ドライで改革的意見論者、常に部改革にかつてなかった意見をはき、OB連の目を白黒させた、松田靖彦君。しかしその中に一本筋金の通っていた事も間違いないし、試合の思い切りの良さは勿論の事。同級生と「かけ」をやり学生服、学帽、くつのまま、どろだらけの深い池に急にとび込んだり。生きた蛙をつかまえて、飲み込んで、仲間より金を巻き上げ、その金を持って酒屋に走り、焼酎を一杯ひっかけて、平然としていた、今は泉州にて立派な材木店の経営者。

我部の貴重な重量級で活躍し、又体育会にても指導者として頑張っていた、森健二郎君、桂新次君、岸田将君、吉村道太郎君などの選手の多かったこの学年。何時、思い出しても血と汗と涙で青春時代を満喫した関大快男児の集まりであった。

関大健児に栄あれ!!

……疾風となって、走りに走ります。もう頭の中には何もありません。とに角、目的地は、栄えある我関大経商学舎の前庭のなだらかな坂の上が決勝点なのです。千里山線に沿ってしばらく走ります。とに角全力で走ります。ふみ切りを右に渡し、一直線で、学舎の門に向います。そのあたりから、講議を終えた学生諸君と肩腕がふれる様にすれ違います。

オーイ!! 高島!! 今日経済原論休講やぞ!! あっそうか、そんなら何処かへ行こうか!! 等々の、その様な声が聞こえても、息を荒だてた20程の肉体共は少しの反応も示しません。

普段、心臓の鼓動が60位のところを170~180にも波打たせて、とに角走りに走ります。各々の肉体はサラブレッドの様に、本能的に少しでも一人でも抜いて早く前に出ようと、きそいます。例え1着でゴールインしても、勿論賞金も賞品も出る訳はありません!! その上、明日も明後日も、ほとんどの毎日が同じ事をくり返すのです。その上このロードワークも本当の練習が始まる前のトレーニングに過ぎないのです。ここで力を全部出し切ってしまうと後の練習についていけないだろうか? しかしそんな事を考えているひまは、今ありません。20程の肉のかたまりは、今日だけは俺がと必死に走るのです。右側の写真屋も過ぎた。もうすぐ丸美屋や!! その前は「やーちゃん」(「女の子」が一人だけ居た)の理髪店や、あー、もうあの坂だけや、心臓はもうこと切れそうに、爆発しそうに、おどります。あらためて、うつろな瞳で前を走る肉体の内容を確認します。

やっぱり、乾さんと横山先輩と宇賀さんと丸谷さんと岸本さんと河竹さんと佐々木先輩と若林さん

と岩田さんと小中さんも俺の前に居ます。そら横山先輩は去年の全日本の2位やからなあ、宇賀さんもウェルターでは3位や、俺は未だ1ヶ月半の新人やからなあ!! しょうないわ!! それでも、坂大先輩も町田さんや大川さんや森川も俺の後らしい、よし!!明日は絶対に一人でも抜くぞ、頑張るぞと腹の中で思います。

しかし、到着順に階段に向って兎とびが始まります。タックルの基本の三呼しょうもあります。それからが本当のトレーニングとスパーリングです。俺は何時頃チャンピオンになれるかなあ?と考えると、兎とびの足がしびれて来ます。あともう少しで階段が終るぞと、云いきかせとび出す、こらあー、森脇!! 立つ奴があるか!! 馬鹿者!! 鬼の先輩の罵声がとびます。俺は立っていないのに、森川が疲れて立ったので新人の名前をよく覚えてくれてない先輩が、俺と一緒にして、どなりよる。せめて練習でも勝てればなあ!! しかし俺は未だ1ヶ月半の新人やからなあ!! こんなきついスポーツであるやろか? それでもよし頑張るぞ!! ああやっぱりもうあかん、動けん!!

もうすぐ初夏です。

吹く風もさわやかです。

### 33 春 (33年5月4、5日、神戸YMCA)

関大 ⑤1引分け3 近大

関学 ⑦ — 2 同大

関学 ⑧ — 1 近大

関大 ⑤ — 4 同大

近大 ⑦ — 2 同大

関学 ⑤1引分け3 関大

順位

1 関学 3勝

2 関大 2勝1敗

3 近大 1勝2敗

4 同大 3敗

主要戦個人勝敗表

関大 31引分け⑤ 関学

F 竹田 3分52秒 ◎石田

F 三好 ○ — 久保

B 山本 ◎ 9分23秒 武部

B 西脇 △ 分 △沢井

F e 岡本 ○ — 曾根

F e 村田 — ○鎌田

L 金谷 — ○出雲

L 梶原 1分44秒 ○清水

W 森 — ○沖

# 33 秋 (33年10月29、30、31日、大阪阿倍野体育館)

関大 ⑧ — 3 同大  
 関学 ⑨ — 2 近大  
 同大 ⑦ — 4 近大  
 関学 ⑨ — 1 同大  
 関大 ⑨ — 2 近大  
 関学 ⑤ 3引分け 3 関大

## 主要戦個人勝敗表

関大 3 3引分け⑤ 関学

F	市口	△	分	△石田
F	瀬脇	—		○久保
B	山本		9分55秒	◎沢井
B	住本	△	分	△武部
F e	西脇	△	分	△藤井
F e	岡本	◎	3分24秒	鎌田
L	中川		9分04秒	◎出雲
L	木田	◎	3分38秒	清水
W	森川	—		○沼
W	金谷	—		○沖
M	森	○	—	高草木

## 順位

1 関学 3勝  
 2 関大 2勝1敗  
 3 同大 1勝2敗  
 4 近大 3敗

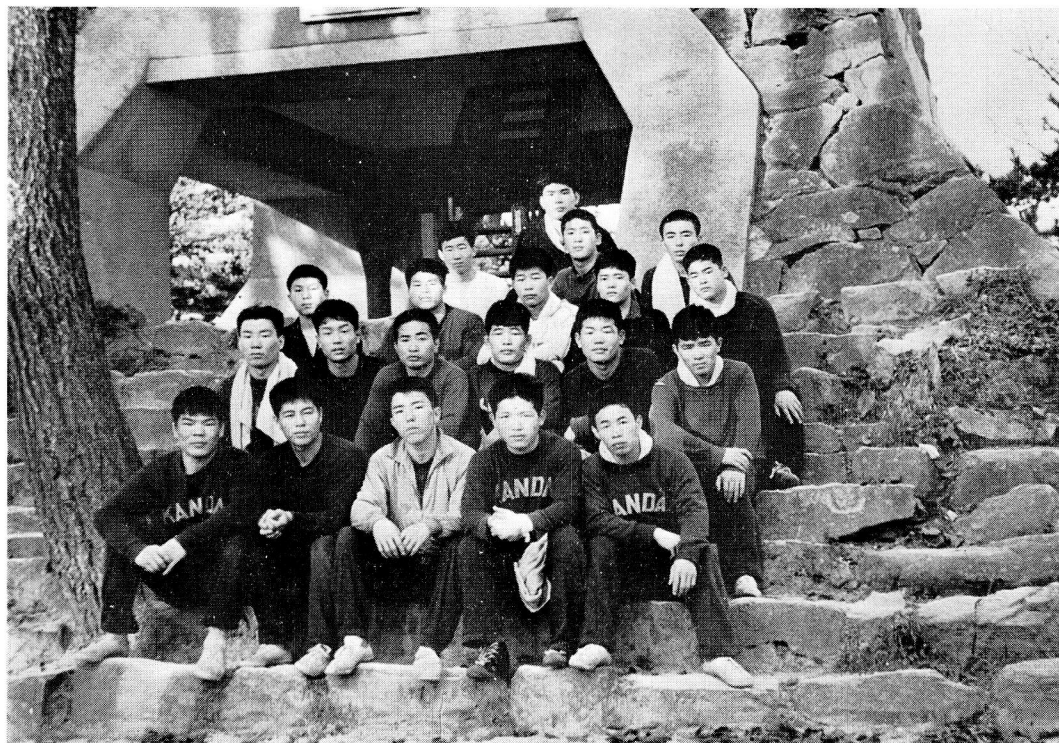
# 33 個人戦

関西選手権大会	フリー・F	市口 政光	2位
	// ・B	西脇 義隆	1位
	// ・B	住本 義男	2位
	// ・B	山本 克幸	3位
	// ・F e	岡本 圭司	3位
	// ・W	乾 哲夫(OB)	1位
全日本選手権大会	フリー・B	西脇 義隆	5位

# 34年

- 佐々木徹、監督に就任する
- 春季リーグ戦第2位
- 秋季リーグ戦第2位
- 西脇義隆、米国遠征日本代表





部長 高堂 俊 弥  
 監督 佐々木 徹  
 コーチ 西脇 義 隆  
 主 将 住 本 義 男  
 副 将 山 本 克 幸  
 主 務 三 好 宗太郎 (現 樋口宗太郎)

学連委員

4 住 本 義 男、山 本 克 幸、三 好 宗太郎 (現 樋口宗太郎)  
 岸 上 止、金 谷 保  
 3 梶 原 栄 (現 白井 栄)、竹 田 賢 藏、中 川 清 通  
 木 田 茂 雄 (現 堀江茂雄)、矢 路 正 之、瀬 脇 嶺  
 2 荒 武 光 也、市 口 政 光、神 谷 和 巳、桂 新 次  
 岸 田 将、高 田 勝 三、中 野 隆 司、福 家 義 夫  
 松 田 靖 彦、松 浪 啓 一、吉 村 道太郎、森 健 二 郎  
 1 西 本 浩 干、光 富 久 弥、伴 義 孝

# 34 春

(34年 5月29、30、31日、大阪市立阿倍野体育館)

関学	⑪	—	0	名商大
関大	⑨	—	2	近大
同大	⑥	—	5	名商大
関学	⑧	—	2	近大
関大	⑩	1引分け	0	名商大
関学	⑧	—	2	同大
近大	⑧	—	3	名商大
関大	⑧	—	2	同大
近大	⑦	—	4	同大
関学	⑧	—	3	関大

## 主要戦個人勝敗表

	関大	3	—	⑧	関学
F	市口	—		○	久保
F	三好	9分29秒		○	石田
B	岸上	—		○	坂本
B	住本	—		○	沢井
F e	福家	◎	2分36秒		武部
F e	神谷	—		○	鎌田
L	木田	◎	0分27秒		藤井
L	金谷	—		○	出雲
W	中川	—		○	沼
W	梶原	1分38秒		◎	清水
M	森	◎	0分03秒		羽田

## 順位

1	関学	4勝
2	関大	3勝1敗
3	近大	2勝2敗
4	同大	1勝3敗
5	名商大	4敗



復活が望まれる「体育会新人ファイヤー・ストーム」「関大愛」がここで生まれた。

# 34 秋 (34年11月12、13日、神戸YMCA)

関学	⑪	—	0	同大
関大	⑩	—	1	同大
関大	⑥	—	4	近大
関学	⑨	—	2	近大
関大	4	—	⑤	関学
同大	3	—	⑦	近大

## 主要戦個人勝敗表

				関大	4 2引分け⑤	関学
	F	市口	◎	9分50秒		石田
	F	竹田	△	分		△大林
	B	山本	◎	3分10秒		平野
	B	高田		—		○坂本
	F e	福家	○	—		鎌田
	F e	神谷		—		○沢井
順位	L	木田	△	分		△藤井
1	関学	3勝				
2	関大	2勝1敗				
3	近大	1勝2敗				
4	同大	3敗				
	L	松浪		5分30秒		◎出雲
	W	矢路		—		○沼
	W	中川		—		○清水
	M	森	◎	5分15秒		羽田

# 34 個人戦

関西選手権大会	フリー・F	竹田 賢蔵	1位
	// ・F	伴 義孝	2位
	// ・B	市口 政光	1位
	// ・L	岡本 圭司(OB)	2位
	// ・M	森川 泰治(OB)	1位
米国西部選手権大会	フリー・B	西脇 義隆	1位
全米選手権大会	フリー・F e	西脇 義隆	1位
	グレコ・F e	西脇 義隆	2位

# 35年

- 春季リーグ戦優勝(11回目)
- 秋季リーグ戦優勝(2連勝、12回目)
- 市口政光、ローマ・オリンピック大会日本代表
- 市口政光、関西スポーツ賞受賞



部長 高堂 俊 弥  
 監督 佐々木 敏  
 コーチ 西脇 義 隆  
 主将 木田 茂 雄 (現 堀江茂雄)  
 副将 中川 清 通  
 主務 矢路 正 之

学連委員

4 梶原 栄 (現 白井 栄)、竹田 賢 藏、中川 清 通  
 木田 茂 雄 (現 堀江茂雄)、矢路 正 之、瀬脇 敏 敏  
 3 荒武 光 也、市口 政 光、神谷 和 巳、桂 新 次  
 岸田 将、高田 勝 三、中野 隆 司、福家 義 夫  
 松田 靖 彦、松浪 啓 一、吉村 道 太郎、森 健 二郎  
 2 西本 浩 干、光 富 久 弥、伴 義 孝  
 1 石井 正 樹、井 宮 茂、中川 慈之助、山本 定 夫  
 遠藤 新 次、小 沢 修、脇 田 宏 明

## この年の思い出・35

堀江茂雄(旧姓 木田)

私達の学年は対談形式にさせていただきます。

中川清通はウシ、白井栄はカジ、竹田腎蔵はケン、矢路正之はヤジ、堀江茂雄はシゲという略称です。早速はじめます。

ウシ「あんたとこ上の子供は」・シゲ「5年生や、あんたとこは」・ウシ「4年生」・ケン「うちは2年生や」・ウシ「ケンは今からおっとりしてたからな」・シゲ「そやけど俺らの学年で一番秀才やったで」・カジ「わしはケンのお蔭で卒業できてん」・ヤジ「それにしてもお互い変らん」・ウシ「シボラレタから成長が止ったんやで」・カジ「池田の1年子の合宿エラカッタで、亡くなられた安川さんの」・シゲ「俺安川さんにレスリング好きかときかれてドッカレルの覚悟で嫌いですいうたらニコッと笑いはった顔忘れられへん」・ヤジ「淡路の合宿もキツかったで、砂の上走らされて」・ケン「浜辺の柔道場やから、マットの上ザラザラ」・ヤジ「それも布のキャンパスに下は畳」・シゲ「松井さんに三熊山の上までウサギ飛びをさされた」・ウシ「観光用の馬の糞よけて」・シゲ「リーグ戦前の天理教の合宿も思い出やな」・ケン「望5時の太鼓と夜のお祈りにはマイッタわ」・ヤジ「晩は楽しかったで色々話して」・ケン「わしは減量が今も頭からはなれん」・ヤジ「俺一緒に走った雨合羽着て」・ウシ「わし等の学年皆おとなしかったな」・シゲ「実力的にはケンが一番上やった」・ケン「ウシは国体出場したで、3年の時静岡の」・ヤジ「ハイライトはわし等の時のリーグ戦優勝や」・ケン「あの頃優勝やなかったらベッタも同じやいう考えやったもん」・ウシ「関学の高校でヤツタ奴等粒ぞろいやったな」・ヤジ「あいつら紳士で闘志湧かなんだ」・カジ「近大の連中とウマ合うたな」・シゲ「他に個人的には強いのおったな」・カジ「同志社の三井とか」・ケン「ヤジさんあいつに勝ったんや三井泣いとった、あの優勝は3年子の力が大きかったな」・カジ「仲々のサムライぞろいやった」・シゲ「イッチャン先頭にオヘン、ボン、ガン、クマ、サデ、カップ、モリケン」・ケン「市口が3年生でローマ五輪にいったのはびっくりしたで」・シゲ「わしらと全然ちごたわ自信研究心」・ケン「伴とようケイコしたけどクライツイてきよったで」・カジ「山長も細い黒い体で頑張とった」・ウシ「道場狭かったな半分づつで」・ヤジ「片方が剣道の時のヤカマシかったこと」・カジ「練習長かったな、4時間位やってたんちがうか」・シゲ「俺4年間で何時間授業うけたやろ」・ケン「レスは正味やもん」・全員「ようケツ割らんと4年もったな」・ウシ「皆エエ人ばかりやったもん」・ヤジ「先ず乾さんや」・ケン「お前部室で煙草すすめてビンタ食ろたやん」・シゲ「わしあの人のお蔭やヤメへなんだん」・カジ「丸谷さん明るい人やった」・ウシ「小中さん先生みたいやった」・ヤジ「西脇さんの一本気」・シゲ「森川さんのシゴキの反面の温情」・ウシ「1年上は理屈の山本さん」・シゲ「やめたけど金谷さん、合宿で電気消やして消灯しよかいうて」・ケン「2年生の時リーグ戦に敗けて布施で飲んだ時スゴカッタな」・カジ「あんたのポタポタ事件」・ヤジ「2階へあがると小間物屋さん、下で寝てたオバチャンの怒ったこと」・ウシ「サムライも多かったな」・カジ「ボンの5時間マラソン」・シゲ「伴の水1升一息飲み」・ヤジ「サデの服のまま真冬の水漕ダイビング」・全員「そやけど根性ついたわへへへ」・ケン「体力、精神力もそやけど考えんならん

もんな」・カジ「それがスポーツの良いところや」・ウシ「役所に入ってきた奴でも既製品みたいな  
 なんばっかりや」・カジ「それが意外と使いにくいけどな、成績優秀で入ったのに限って」・ケン  
 「レスリングやってよかったな」・全員「ほんま」・シゲ「一生レスリング（闘う事）しようで」  
 ・全員「勿論」・ウシ「勝とうで」・全員「絶対に」。

対談だけに前後チグハグで乱暴な言葉になりましたことお詫び致します。

## 35 春 (35年6月11、12、18、19日、関西学院大学体育館)

関学	⑨	—	2	名城大
関大	⑦	—	4	名商大
近大	⑧	—	3	同大
関学	⑦	—	4	名商大
近大	⑩	—	1	名城大
関学	⑦	—	3	同大
名商大	⑦	—	4	近大
関大	⑩	—	1	名城大
関学	⑥	1引分け	4	近大
名商大	⑪	—	0	名城大
関大	⑥	—	3	近大
同大	⑩	—	1	名城大
関大	⑥	—	4	同大
同大	⑦	—	4	名商大
関大	⑤	1引分け	5	関学

### 主要戦個人勝敗表

関大 ⑤ 1引分け 5 関学  
フォール数の多い関大の勝

F	竹田	—	○久保
F	伴	—	○大林
B	市口	○	— 石田
B	高田	◎	不戦
F e	松浪	△	分 △阪本
F e	神谷	○	— 平野
L	木田	—	○沼
L	福家	◎	6分43秒 小西
W	中川	—	6分52秒 ○藤井
W	梶原	—	○出雲
M	森	○	— 羽田

### 順位

1	関大	5勝
2	関学	4勝1敗
3	名商大	2勝3敗
4	近大	2勝3敗
5	同大	2勝3敗
6	名城大	5敗

# 35 秋

(35年11月11、12、13日、名商大体育館)

関大	⑨	—	2	名城大
関学	⑧	2引分け	1	同大
近大	⑧	—	3	名商大
関大	⑦	—	4	同大
関学	⑤	5引分け	1	近大
名商大	⑥	2引分け	3	名城大
関大	⑥	2引分け	3	近大
同大	⑤	7 1引分け	5	名商大
関学	⑩	—	1	名城大
関大	⑨	—	1	名商大
近大	⑩	—	1	名城大
同大	⑪	—	0	名城大
関学	⑩	—	1	名商大
近大	⑤	3引分け	3	同大
関大	⑤	7 1引分け	5	関学

## 主要戦個人勝敗表

	関大	⑥	2引分け	3	近大
F	山本	◎	1分08秒		喜多
F	荒武		4分52秒	◎	田中
B	市口	○	—		足立
B	伴	○	—		池田
F e	松浪	△	分	△	木田
F e	神谷	◎	9分31秒		釜野
L	木田	△	分	△	島長
L	福家	◎	0分55秒		山川
W	石井	○	—		高橋
W	梶原		7分45秒	◎	福岡
M	矢路		0分45秒	◎	宮崎

## 順位

- 1 関大 5勝
- 2 関学 4勝1敗
- 3 近大 3勝2敗
- 4 同大 2勝3敗
- 5 名商大 1勝4敗
- 6 名城大 5敗



## 35 個人戦

関西選手権大会

フリー・F	高田 勝三	1位
// ・B	市口 政光	1位
// ・F e	松浪 啓一	2位
// ・W	佐々木 敏(OB)	1位
// ・W	岡本 圭司(OB)	2位
// ・M	森川 泰治(OB)	1位

ローマ・オリンピック大会 グレコ・B 市口 政光 7位

---